

議会広聴広報常任委員会

任期満了に伴う退任のあいさつ

議会広聴広報常任委員会では、議会活動の一端を市民の皆さまに伝え、市政に関心を持っていただくために「ギカイのひろば」を発行してまいりました。委員会では「伝える広報」から「伝わる広報」を目指し、議論を重ね、新たな取り組みとして編集後記や議員と語る会などの改革を進めてまいりました。2年間の任期が満了することに伴い、ご協力いただいた皆さまに心から感謝し、お礼を申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。
議会広聴広報常任委員会 委員長 工藤 多弘



2年間活動してきた議会広聴広報常任委員

総務教育常任委員会協議会

■期日 令和6年2月19日
■場所 市役所3階大会議室

平館高校「ハチタン」報告会



八幡平市探究（ハチタン）報告会の様子

平館高校の3年生による「八幡平市の総合的な探究の時間」、略して「ハチタン」の3年間の成果を発表する報告会が開催された。八幡平市の文化や伝統、現在進行形で課題になっている地域の問題をさまざまな角度から探究した内容となっていた。議員自身も勉強や参考になったと同時に、今後は、より一層、若い世代の意見に耳を傾けていくため、平館高校の生徒と議論を行う機会を検討していきたい。

次は6月定例会（予定）

※日程は変更になる場合があります。

| 期日 | 内容 |
|-----------------|----------|
| 6月13日(木) | 議案上程 ほか |
| 6月14日(金) | 一般質問 |
| 6月15日(土)・16日(日) | 休会 |
| 6月17日(月) | 一般質問 |
| 6月18日(火) | 一般質問 |
| 6月19日(水) | 議案審議 |
| 6月20日(木) | 休会 |
| 6月21日(金) | 委員長報告 ほか |

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。
開催時刻は一部を除き午前10時から（終了時間は日によって異なります）です。詳しくは、八幡平市議会のホームページをご確認ください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット（YouTubeの八幡平市議会のチャンネル）で録画配信しています。
令和6年3月定例会の視聴回数は1,224回です。
令和5年12月定例会の視聴回数は1,047回でした。
（令和6年4月22日時点）

八幡平市議会活動レポート

■期日 令和6年1月23日・24日・25日
■場所 徳島県三好市、上勝町、佐那河内村
■内容 廃校活用事業について、ゼロ・ウェイストの取り組みについて、ドローンを活用した新スマート物流実装業務について

会派合同研修で徳島県上勝町訪問

上勝町では、環境教育・人材育成を重点目標とするゼロ・ウェイスト宣言の事業について研修した。2003年国内初の宣言を機に町民1人ひとりがごみの削減に努め、リサイクル率80%以上を達成した。小さなまちの大きな挑戦は世界から注目され、持続可能な社会への道筋を示している。ごみの再利用・再資源化を進め、焼却・埋め立て処分をなくす最善の努力をしている最前線であった。地球環境を考えた挑戦への参考にしていきたい。

会派視察研修

（自由クラブ・日本共産党・松西会）



上勝町のごみステーション前での集合写真

クイズ

問 ○の中には、どんな文字（数字）が入るでしょう？

2月19日に平館高校の3年生による「八幡平市の総合的な探究の時間」、略して「〇〇〇〇」の報告会が開催された。

- 応募方法 答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係 FAX：0195-74-2105 E-mail：gikai@city.hachimantai.lg.jp
- 締め切り 令和6年6月14日(金)(当日消印有効)
- 前回(No.74)の正解 4(回) 応募者 11人 正解者 11人

会派視察研修

（八起会・市民クラブ）



今帰仁村での視察風景

■期日 令和6年1月25日・26日・27日・28日
■場所 沖縄県今帰仁村、本部町
■内容 小学校のキャリア教育への取り組みについて、IoTを活用した水道検針の自動化について

沖縄県今帰仁村と本部町を視察

今帰仁村学校教育「教室にホンモノを届けます。今帰仁村をどう教えるか」の取り組みを視察した。地域社会がもつ教育資源を探求し、地域学習教材として活用していた。本部町では「IoTを活用した水道検針の自動化」について視察した。スマートメーターを導入し、水道検針者の高齢化対策、遠隔地の検針作業の効率化を図っていく取り組みである。当市でも限界集落対策として検針が困難な地域、検針員不足対策として、導入を検討すべきと感じた。